

世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式） 毎月分配型

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第214期（決算日2023年7月18日） 第215期（決算日2023年8月15日） 第216期（決算日2023年9月15日）
第217期（決算日2023年10月16日） 第218期（決算日2023年11月15日） 第219期（決算日2023年12月15日）

作成対象期間（2023年6月16日～2023年12月15日）

第219期末（2023年12月15日）	
基準価額	10,988円
純資産総額	38,974百万円
第214期～第219期	
騰落率	3.5%
分配金（税込み）合計	60円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示⇒運用報告書タブを選択⇒該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型」は、2023年12月15日に第219期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<940607>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

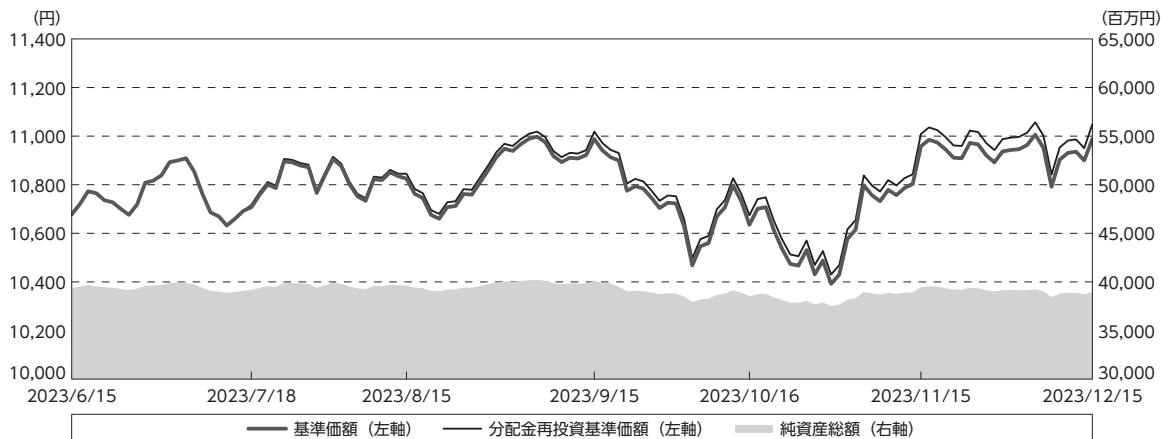
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年6月16日～2023年12月15日)



第214期首：10,678円

第219期末：10,988円（既払分配金（税込み）：60円）

騰落率：3.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年6月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、国内外の各資産への投資にあたっては、各資産を投資対象とする6つのマザーファンドを通じて行なっており、各マザーファンドの組入比率は、それぞれ、純資産総額の1/6を目途としております。

当作成期間中において、基準価額の変動要因となった、各マザーファンドの騰落率および当期間末における組入比率は以下の通りです。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

投資対象資産	投資対象ファンド	騰落率	組入比率
不動産	日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	△1.0%	16.0%
	海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	10.7%	17.4%
債券	日本債券インデックスマザーファンド	△2.4%	16.0%
	海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	5.0%	16.3%
株式	日本株式インデックスTOPIXマザーファンド	2.8%	16.2%
	海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	9.5%	16.5%

1万口当たりの費用明細

(2023年6月16日～2023年12月15日)

項 目	第214期～第219期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	56 (24) (30) (3)	0.522 (0.220) (0.275) (0.027)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	0 (0) (0) (0)	0.002 (0.000) (0.002) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.001 (0.000) (0.001)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用等) (その他)	2 (1) (0) (1) (0)	0.019 (0.008) (0.002) (0.009) (0.001)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、約款で定めるマザーファンドの運用において利用する指数の標準使用料など その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	58	0.544	
作成期間の平均基準価額は、10,786円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

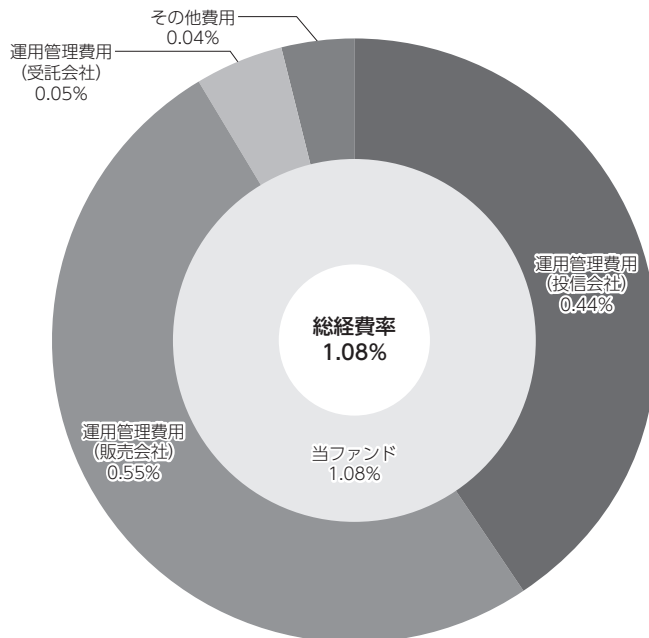
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

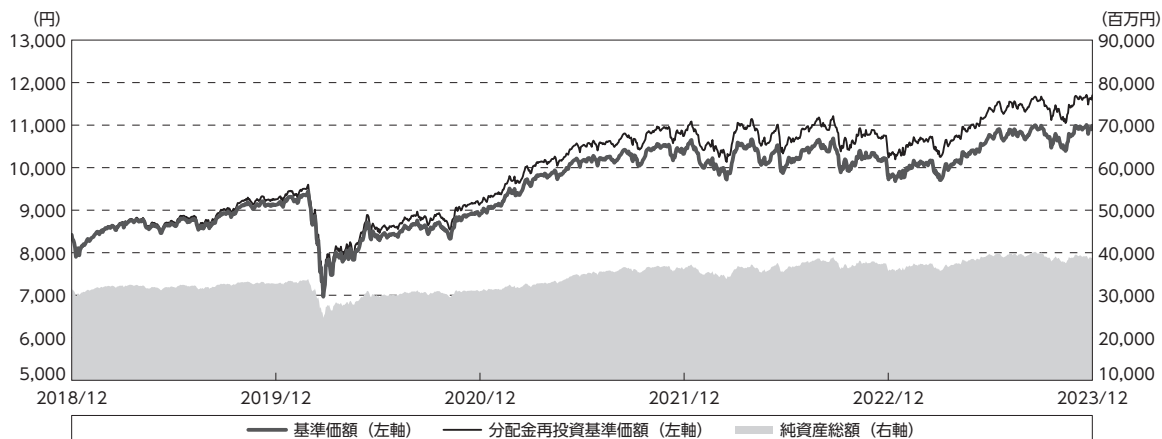
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年12月17日～2023年12月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年12月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年12月17日 決算日	2019年12月16日 決算日	2020年12月15日 決算日	2021年12月15日 決算日	2022年12月15日 決算日	2023年12月15日 決算日
基準価額 (円)	8,421	9,108	8,907	10,365	10,208	10,988
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.7	△0.8	17.8	△0.3	8.9
純資産総額 (百万円)	31,635	32,740	31,006	36,248	37,443	38,974

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2023年6月16日～2023年12月15日)

(国内不動産投資信託市況)

国内不動産投資信託市場では、東証REIT指数（配当込み）は期間の初めと比べて下落しました。都心部オフィスにおける空室率が低下したことや、国内株式市場が堅調に推移し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどがREIT価格の支援材料となったものの、都心部オフィスの平均賃料が下落したことや、インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げをしたこと、日銀が金融政策決定会合において長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用の柔軟化を決定し、国内長期金利が上昇したことなどがREIT価格の重しとなり、東証REIT指数（配当込み）は下落しました。

(海外不動産投資信託市況)

海外のREIT市場では、S&P先進国REIT指数（除く日本）は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2023年7月下旬にかけては、米国の消費者物価指数（CPI）、生産者物価指数（PPI）が市場予想を下回りインフレ懸念が後退したことや、一部良好な企業決算発表を好感して株式市場が上昇したことなどが支援材料となり、同指数は上昇しました。8月上旬から10月下旬にかけては、格付け会社が米国国債の格付けを引き下げたことや、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受けて米国の金融引き締めが長期化する見方が改めて広がり米国の長期金利が上昇したこと、米国連邦議会で政府の予算案を巡る協議が難航し政府機関の一部が閉鎖される懸念が高まったこと、中東情勢の緊迫化を背景に世界経済の先行き懸念が高まったこと、一部IT企業の企業決算が市場予想を下回ったことを背景に株式市場が下落したことなどが重しとなり、同指数は下落しました。11月上旬から期間末にかけては、米国の雇用統計で非農業部門の雇用者数およびインフレ指標が市場予想を下回り、米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ局面が終了したとの見方が広がったことや、FRB高官が利下げについて言及したことなどをを受けて米国の長期金利が低下したことが支援材料となり、同指数は上昇しました。

(国内債券市況)

国内債券市場では、10年国債利回りは、期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）しました。期間の初めから2023年10月下旬にかけては、中東情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となったものの、日銀が金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロールの運用の柔軟化を決定し、これまで0.5%程度としてきた長期金利の変動幅の上限について、市場の動向に応じて0.5%を超えることを容認する姿勢を示したことや、米国の堅調な経済指標の発表などを背景に米国の長期金利が上昇したこと、日銀が金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロールの運用を更に柔軟化することを決め、長期金利の上限の目途を1%として一定の上昇を容認したことなどから、10年国債利回りは上昇しました。11月上旬から期間末にかけては、米国のCPIが市場予想を下回ったことからFRBによる追加利上げ観測が後退し米国の長期金利が低下したことや、FOMCの結果を受け、FRBの利上げ局面は終了したとの見方が強まったことなどから、10年国債利回りは低下しました。

（海外債券市場）

海外債券市場では、米国、ドイツ、英国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて低下しました。

期間の初めから2023年10月上旬にかけては、公表されたF R Bの議事録の内容や米国の堅調な経済指標の発表などからF R Bによる追加利上げが見込まれたことや、F R B高官や欧州中央銀行（E C B）当局者によるタカ派（金融引き締めの政策を支持）的とみなされた発言などを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。10月中旬から期間末にかけては、米国の国内総生産（G D P）成長率速報値が市場予想を上回りF R Bによる金融引き締めの長期化が意識されたことなどが利回りの上昇要因となったものの、ユーロ圏の弱めな経済指標を受けてユーロ圏の景気後退観測が高まったことや、中東情勢の緊迫化を受けた地政学的リスクの高まりが懸念されたこと、米国の雇用統計における非農業部門雇用者数やインフレ指標が市場予想を下回り、F R Bの利上げ局面が終了したとの見方が広がったこと、F R BやE C Bが追加利上げを見送ったことなどを背景に、各国の10年債利回りは総じて低下しました。

（国内株式市場）

国内株式市場では、東証株価指数（T O P I X）は、期間の初めと比べて上昇しました。

米国の堅調な経済指標の発表などを背景に米国の金融引き締めが長期化するとの見方が強まったことや、中東情勢の緊迫化で投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが株価の重しとなりました。しかし、国内株式市場の相対的な割安感を背景に海外投資家の買いが膨らんだことや、日銀が金融政策決定会合で現行の金融緩和政策の維持を決めたこと、F O M C後のF R B議長の記事会見を受けて米国の利上げサイクル終了への期待が強まったこと、米国のC P Iが市場予想を下回り、米国の追加利上げ観測が後退したことなどが支援材料となり、T O P I Xは上昇しました。

（海外株式市場）

海外株式市場では、欧米諸国などの株価は、期間の初めと比べて概して上昇しました。

期間の初めから、2023年7月下旬にかけては、インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したことなどが株価の重しとなったものの、米国のC P Iなどのインフレ指標が市場予想を下回り、F R Bの利上げペース鈍化への期待が強まったことや、ユーロ圏のC P Iが市場予想を下回りインフレ圧力の緩和が見られたこと、公表された米国の2023年4－6月期の企業業績が概ね良好な内容となったことなどを背景に、欧米諸国などの株価は総じて上昇しました。8月上旬から10月下旬にかけては、F O M Cの結果を受けて、米国の金融引き締めが長期化するとの見方が改めて広がり、欧米の長期金利が上昇したことや、イスラエルとイスラム組織ハマスとの間の戦闘激化による地政学的リスクの高まりなどが重しとなり、欧米諸国などの株価は総じて下落しました。11月上旬から期間末にかけては、F O M C後のF R B議長の記事会見を受けて米国の利上げサイクル終了への期待が強まったことや、欧米のC P Iが市場予想を下回り欧米の長期金利が低下したことなどが支援材料となり、欧米諸国などの株価は総じて上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2023年6月16日～2023年12月15日）

（当ファンド）

主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。国内外の各資産を投資対象とする6つのマザーファンドへ投資を行ないました。各マザーファンドの組入比率は、それぞれ、純資産総額の1/6を目途としました。

（投資先の各マザーファンド）

各マザーファンドの運用においては、各マザーファンドがそれぞれに定めるベンチマークへの連動をめざして運用を行ないました。各マザーファンドは、ベンチマーク採用銘柄の入れ替えなどに対応するため、随時ポートフォリオの見直しを行ないました。各マザーファンドが定めるベンチマークは以下の通りです。

マザーファンド	ベンチマーク
日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	東証REIT指数（配当込み）
海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	S & P先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）
日本債券インデックスマザーファンド	NOMURA-BPI総合
海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
日本株式インデックストップIXマザーファンド	TOPIX（東証株価指数）配当込み
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年6月16日～2023年12月15日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2023年6月16日～2023年12月15日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第214期	第215期	第216期	第217期	第218期	第219期
	2023年6月16日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月15日	2023年8月16日 ～2023年9月15日	2023年9月16日 ～2023年10月16日	2023年10月17日 ～2023年11月15日	2023年11月16日 ～2023年12月15日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.093%	0.092%	0.091%	0.094%	0.091%	0.091%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	2,541	2,658	2,821	2,834	2,839	2,844

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。国内外の各資産を投資対象とする6つのマザーファンドへ投資を行ないます。各マザーファンドの組入比率は、それぞれ、純資産総額の1/6を目途とします。

（投資先の各マザーファンド）

当ファンドの投資先である各マザーファンドの運用においては、引き続き、各マザーファンドがそれぞれに定めるベンチマークへの連動をめざして運用を行なう方針です。各マザーファンドは、ベンチマーク採用銘柄の入れ替えなどに対応するため、随時ポートフォリオの見直しを行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2023年6月16日から2023年12月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

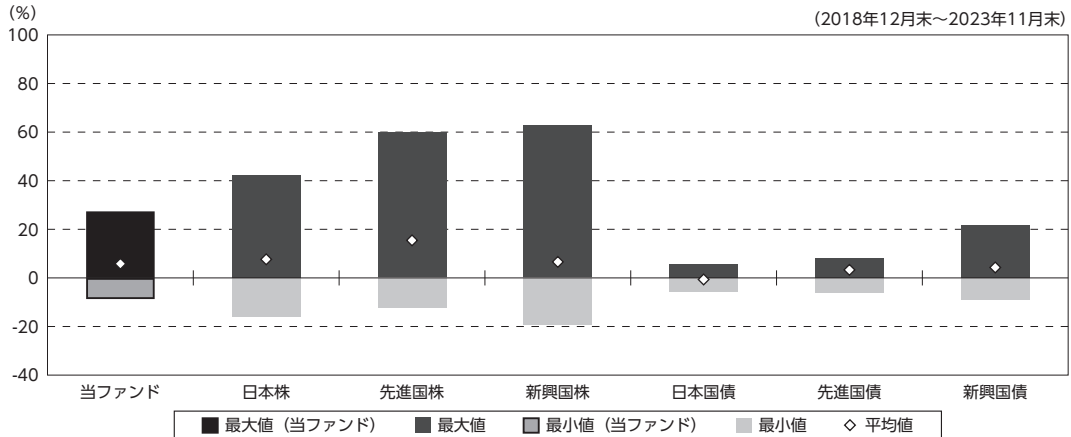
当ファンドの主要投資対象の1つである「海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド」について、ベンチマークが「税引後配当込み」の値動きであることを明確化するため、そのベンチマーク表記を「S & P 先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）」へ変更いたしました。それに伴ない、信託事務の諸費用として信託財産から支弁することができる商標使用料の規定に記載されている当該ベンチマーク表記も同様に変更すべく、2023年9月16日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第36条）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2005年9月29日から原則無期限です。	
運用方針	主として投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	投資信託証券を主要投資対象とします。
	日本リートインデックスJ-R E I Tマザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託を主要投資対象とします。
	海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託を主要投資対象とします。
	日本債券インデックスマザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	内外の公社債を主要投資対象とします。
	日本株式インデックストップIXマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。投資信託証券（マザーファンド）への投資を通じて、原則として国内外の各3資産へそれぞれ純資産総額の6分の1を基本に国際分散投資を行ないます。	
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.4	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△8.7	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8
平均値	5.8	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年12月15日現在)

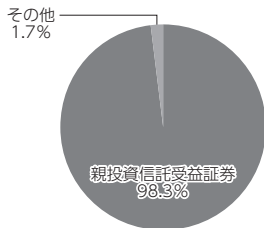
○組入上位ファンド

銘柄名	第219期末
	%
海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	17.4
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	16.5
海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	16.3
日本株式インデックスTOPIXマザーファンド	16.2
日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	16.0
日本債券インデックスマザーファンド	16.0
組入銘柄数	6銘柄

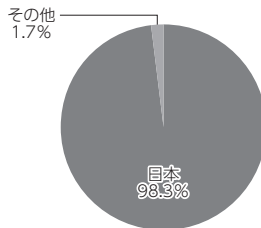
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

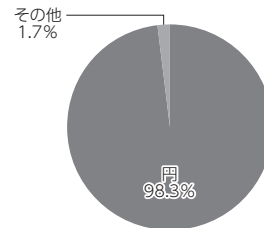
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

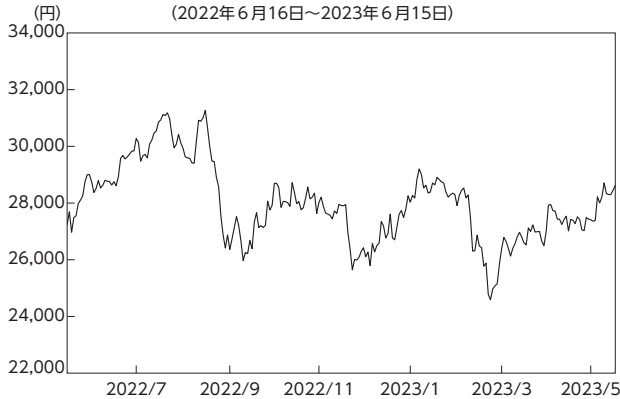
項目	第214期末	第215期末	第216期末	第217期末	第218期末	第219期末
	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日	2023年11月15日	2023年12月15日
純資産総額	39,178,013,446円	39,623,525,915円	40,089,278,809円	38,536,656,345円	39,455,372,635円	38,974,520,273円
受益権総口数	36,589,520,940口	36,602,246,193口	36,484,543,111口	36,234,130,219口	36,007,391,094口	35,471,422,735口
1万口当たり基準価額	10,707円	10,825円	10,988円	10,635円	10,958円	10,988円

(注) 当作成期間（第214期～第219期）中における追加設定元本額は1,301,936,668円、同解約元本額は2,696,216,303円です。

組入上位ファンドの概要

海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月16日～2023年6月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	7 (7)	0.025 (0.025)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	4 (4)	0.016 (0.016)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	24 (17) (7)	0.085 (0.060) (0.025)
合計	35	0.126

期中の平均基準価額は、27,931円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

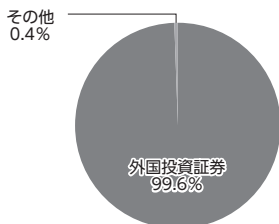
【組入上位10銘柄】

(2023年6月15日現在)

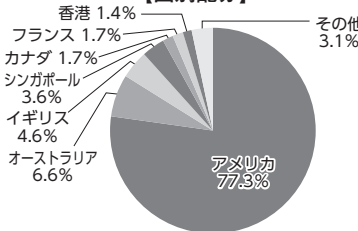
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	PROLOGIS INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	8.9
2	EQUINIX INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.6
3	PUBLIC STORAGE	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.5
4	WELLTOWER INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.0
5	REALTY INCOME CORP	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.0
6	SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.8
7	VICI PROPERTIES INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.5
8	DIGITAL REALTY TRUST INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.4
9	AVALONBAY COMMUNITIES INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.1
10	GOODMAN GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.8
	組入銘柄数		321銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

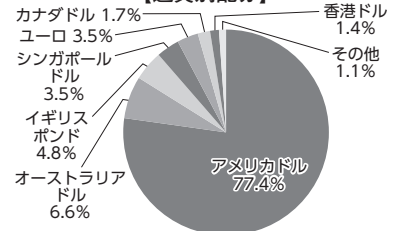
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

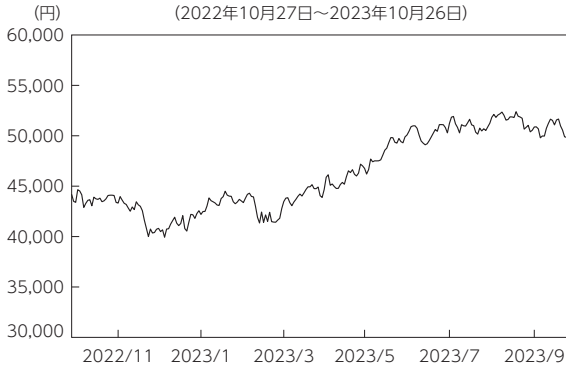


- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月27日～2023年10月26日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0) (0)	0.003 (0.002) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.004 (0.004) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.020 (0.020) (0.000)
合 計	12	0.027

期中の平均基準価額は、46,175円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

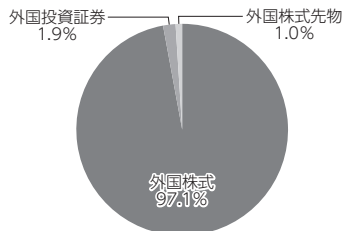
【組入上位10銘柄】

(2023年10月26日現在)

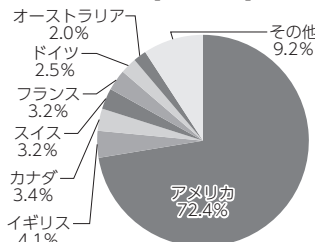
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	5.4%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.8%
3	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売	アメリカドル	アメリカ	2.2%
4	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.1%
5	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.5%
6	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
8	TESLA INC	自動車・自動車部品	アメリカドル	アメリカ	1.2%
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.0%
10	ELI LILLY & CO	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	0.9%
	組入銘柄数		1,273銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

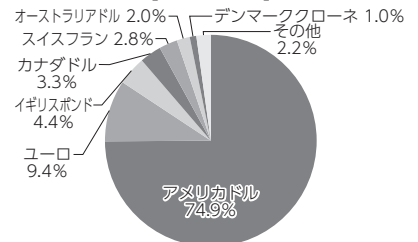
【資産別配分】



【国別配分】



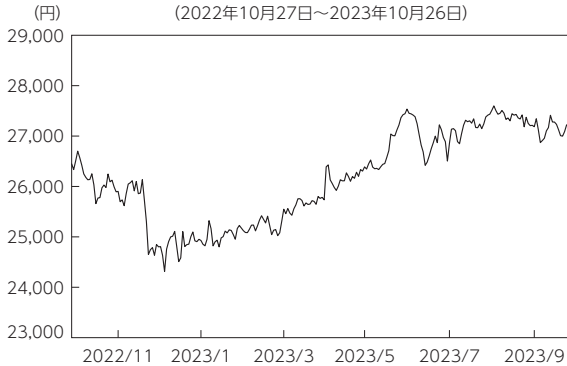
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月27日～2023年10月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	5	0.018
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.018)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	5	0.018

期中の平均基準価額は、26,179円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

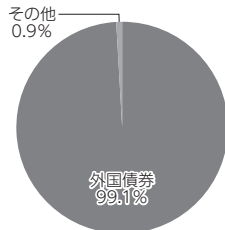
【組入上位10銘柄】

(2023年10月26日現在)

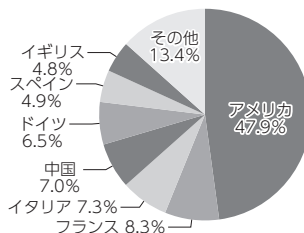
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1 US TREASURY N/B 3.625% 2026/5/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
2 US TREASURY N/B 1.75% 2029/11/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
3 US TREASURY N/B 0.375% 2027/7/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
4 US TREASURY N/B 4.125% 2028/7/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
5 US TREASURY N/B 4.125% 2032/11/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
6 US TREASURY N/B 1.625% 2031/5/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
7 US TREASURY N/B 1.25% 2031/8/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
8 US TREASURY N/B 1.125% 2025/2/28	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
9 US TREASURY N/B 1.375% 2031/11/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
10 US TREASURY N/B 2.25% 2024/10/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
組入銘柄数		864銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

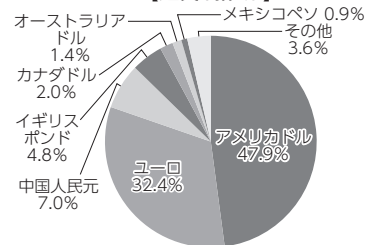
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。